

7月の園だより

令和5年6月29日

杉並区立西荻北子供園

園長 石床 美穂子

「年長組のカレーパーティー」

副園長 小森 三奈子

子供園では、毎年色々な野菜を育てています。年長（ぞう組）は、「去年のぞう組さんたちみたいに、自分たちもジャガイモを育てて、カレーパーティーをしたい！」と3月にジャガイモの種芋を植え、6月まで毎日水やりをして大事に育ててきました。

そして、いよいよ収穫の日。1人が「あった！」と土の中のジャガイモを見つけると、周りにいた幼児も次々と土の中のジャガイモを掘り起こしていきます。自分たちで育てたジャガイモを収穫する喜びを感じながら、たくさんのジャガイモを掘っていました。

年少（うさぎ組）・年中（くま組）は、ぞう組が掘っている様子や、掘り終わってタライにたくさん入れたジャガイモに興味津々で見っていました。

「ぞう組さん、これ今日食べるの？」と、ある年中児が聞くと、ぞう組が「今日は食べないよ。今度、カレーにして食べるよ。」「そうだ、みんな（うさぎ組・くま組）にも食べさせてあげるよ。」と答えてくれました。それを聞いたうさぎ組・くま組の子どもたちは、大喜びでした。

ジャガイモを掘り終わると、次にぞう組はカレーの中身の相談をすることにしました。担任が事前に「家のカレーには何が入っているか聞いてきてね。」と伝えておいたところ、各自が家で聞いてきたものの中からカレーに入れたいものを挙げていきました。

カレーに入れたい中身は、たくさん出たのですが、「このカレーは、誰が食べるのかな。」と担任が聞くと、「みんなが食べるから、苦手な人がいるもの（食材）は入れない方がいいよ。」と子どもたちから意見が出て、材料はジャガイモ、人参、玉ねぎ、肉を入れることが決まりました。また、カレールーだけでなく、隠し味も入れることにしました。隠し味は、「小さい子も甘くして食べられるように、はちみつを入れよう。」「甘すぎないように、ソースも入れよう。」とはちみつとソースの2種を入れることが決まりました。自分たちで中身を決めたことで、『自分たち（ぞう組）のカレー』という思いをより感じ、期待感が高まっていたようです。

カレーに入れる材料が決まると、ぞう組が近所のスーパーまで買い物に行くことになりました。カレーに必要な材料（野菜やルー等）を買い、カバンに入れて、子供園まで自分たちで運んできました。買い物から戻ってくると、園庭で遊んでいたうさぎ組やくま組に「ぞう組さんありがとう。」と言ってもらい、自分たちがしたことを年下の幼児に喜んでもらえるうれしさを感じていました。

さらに、ぞう組は、「カレーパーティーがあることをどうやって、うさぎ組やくま組に知らせたらいいかな。」と相談をし、ぞう組みんなで考えた結果、「招待状をつくろう！」ということになり、大きな紙に絵をかき、招待状を作って、カレーパーティー前日に渡しに行きました。

招待状をもらったことで、うさぎ組・くま組の子どもたちは期待感をもち、カレーパーティーの日は朝からウキウキワクワクしていました。また、カレーは、おいしくて、何回もおかわりした子もいたほど、大人気でした。

ぞう組の子どもたちは、今回のカレーパーティーに向けて、“やりたい”という思いをもって活動し、自分たちで育てたジャガイモを収穫して食べるうれしさを感じました。また、一人ひとりが考えを出し、みんなで納得して決めるという体験もしました。そして、自分より年下の幼児との関わりを通して、大きくなった自分を感じたり、相手の立場に立って考える優しい心が育まれたりしていました。

今後も、子供園では、幼児の“やりたい”という思いを大切にしながら、遊びや生活を通して、さまざまな力を育てていきたいと思えます。

子どもたちの様子と今月のねらい

3歳児 うさぎ組

6月は、水を使った遊び（泥・砂・ゆび絵の具・水）をたくさん楽しみました。素材の感触の気持ちよさや面白さを感じ、手や足をはじめ全身を使って遊ぶ姿へとつながっていきました。雨の日には、セロハンテープを使って紙をつなぎ合わせ、雨だれをつくり保育室内に飾りました。長い雨だれができることがうれしく、繰り返しています。入園して3か月が経とうとしている中で、周りにいる幼児に関心をもつようになっていたり、保育者から少し離れて遊んだりする姿も出てきました。生活面では、毎日の身支度や弁当準備等、自分でできることを自分でしていこうとしています。

今月は、個々の水慣れのペースに合わせて引き続き水遊びを楽しんだり、保育者や周りの幼児と一緒にやりたい遊びに興味をもって取り組んだりできるようにしていきたいと思います。

〈今月のねらい〉

- 自分のしたいことを見つけて遊んだり、同じ場にいる幼児と関わったりすることを楽しむ。
- 水遊びに喜んで参加し、水の冷たさや感触を楽しみながら開放感を味わう。
- 子供園の生活の流れが分かり、自分でできることをやってみようとする。

〈家庭との連携〉

プールの身支度では、洋服をたたむことにも取り組んでいます。ご家庭でも脱いだ服を表に返したり、畳んでみたりしてください。

4歳児 くま組

そう組遊園地に誘われ、お客さん役になって参加しました。年長組がしてくれたことをよく見ている、その後からはくま組でもお店屋さんごっこの遊びが始まり、画用紙や京花紙等をつかってピザやお寿司等、色々な食べ物を繰り返して作りました。お店屋さんのつもりになって遊ぶ中で、友達と関わることを楽しんでいました。また、くま組で育てていたカブト虫の幼虫が成虫になったり、カタツムリがたまごを産んでかえったりして、生き物に興味をもって見ていました。新しい発見をすると学級のみんなに伝えて喜び、思いついたことをつぶやいたり、図鑑で調べたりしていました。

〈今月のねらい〉

- 自分の思いや言葉や動きで表して遊ぶ楽しさを味わう。
- 水に触れて遊ぶ中で、心地よさや開放感を味わう。
- 園生活に必要な身の回りのことが分かり、自分でやってみようとする。

〈家庭との連携〉

プール遊びでは、全身を使って体力を消費しますので、帰宅後は体を休めてゆっくりと過ごし、早めに眠るようにしましょう。水着に着替える前に来ていた洋服は、畳んでプールバックに入れます。ご家庭でもお子さんと一緒に畳んでみてください。

5歳児 そう組

「そうぐみ遊園地」や「カレーパーティー」では、めあてに向けて学級の友達と相談しながら進めたり、めあてに向かって取り組んだりする楽しさを感じることができました。自分たちが考えた楽しいことが形となり、年少児、年中児に喜んでもらったことで大きな喜びや満足感につながりました。今月は、「こどもえんまつり」に向けて、子どもたちと楽しいことを考えていきたいと思います。

プール遊びでは、個々のペースに合わせながら水に慣れ、自分なりのめあてをもって取り組んでいくことができるようにしていきます。

〈今月のねらい〉

○自分なりのめあてをもって遊び、試したり、工夫したりしながら実現していこうとする。

○やりたいことや行事に向け必要なことを考えて、自分なりの見通しをもって進める。

○水の気持ちよさを感じながら、水遊びやプール遊びを楽しむ。

〈家庭との連携〉

プールが始まるにあたって、「生命（いのち）の安全教育」として、自分の体も相手の体も大切にすることやプライベートゾーンについて話をしました。自分の体が見えないよう、ラップタオルを使って男女に分かれて着替えをしています。まだ使い慣れていない姿があるので、ご家庭でも練習をお願いいたします。

ほしグループ 長時間保育

梅雨に入り、雨で園庭に出られず室内で過ごす日も増えてきました。みんなの部屋では、アジサイや雨の製作をして楽しく過ごしました。

うさぎ組は、園庭に出るとダンゴムシ探しをしています。見付けると嬉しくて大事そうに手の平に乗せたりバケツに入れてじっと見つめたりする姿があります。また、砂場では「工事中！」と言って車を走らせたり型抜きをしてお料理を作り保育者と食べ合ったりして遊んでいます。くま組は、友達と一緒に追いかけてっこをしたり、年長児と一緒にそう組の栽培物を見て葉についているテントウムシを集めたりしました。そう組は、そう組のみんなで中当てをして子ども同士で遊びを進めて楽しんでいます。また、友達のしている縄跳びの跳び方を見て“同じように跳びたい”と一生懸命練習する姿も見られました。

これから、暑さがより一層厳しくなることが予想されます。水分補給の声掛けをしたり室温を調整したりし、心地よく過ごせるように関わっていきます。また、園庭での遊ぶ時間や場を考えながら心地よく過ごしていけるように工夫していきます。